

令和 2 年 9 月 11 日

(一財) 日本地図センターは、文部科学省の「大学入試のあり方に関する御意見の募集について」にパブリックコメントを行いました。

意見の分類番号 (必須) 3. 大学入試のあり方と現状

意見

高等学校学習指導要領を基本とするとともに ICT 社会に適應できる学生を育成する出題が重要。地理科目は地図、統計、グラフ等を多用する地理教育の特色に鑑み、地形図等と GIS の出題は不可欠である

意見の理由

当センターは公益事業として地図の普及啓発に取り組み、特に近年は地理教育支援を重点事業と位置づけて地理文化講演会、地図地理検定、教員免許状更新講習等に注力しておりこれらの実績を踏まえ意見を提出する。出題では高等学校学習指導要領を基本とすべきであり、さらに ICT 社会に適應できる学生を育成することが重要で、この観点から地理の分野では地形図、GIS の出題が重要である。地図は信頼性が高く客観的な国土地理院の地形図等の活用が必要であり、例えば、我が国の領土・主権を科学的・客観的に考えさせる観点から、領域と近隣諸国との位置を正確に表す「500 万分 1 日本とその周辺」や、防災・減災について自然環境とその利用を総合的に考えさせる観点から地形、水系、土地利用等を網羅する 2 万 5 千分 1 地形図が有用である。GIS ではデータの扱いと分析により ICT 活用とデジタル化への対応を育成する。なお、地図はカラー掲載が望ましい。

以上